



# 夏の森は虫だらけ！

7月21日米沢昆虫館のご協力をいただき  
第124回森林の学校を開催しました。  
「えー、見せて見せて！」

## ひとしづくの森

2024・8

夏の号

発行・編集

山形県源流の森

飯豊町須郷 669-3

源流の森に集まった親子は25名、いずれも虫網、虫かごを手取る気満々。米沢昆虫館の杉浦さんから木の種類によってやって来る昆虫が違うことや、どこに行けば取れるか、網など道具をどう使うかを教わった後、班ごとに森へ出発。バナナトラップやバタフライトラップなどの仕掛け方や虫が入っているかを確認した後、自分達で採集開始。様々な虫を観察できました。最後に杉浦さんからはルールを守って昆虫と触れ合い、知識を深めて虫博士を目指してほしいとのエールがありました。

虫が捕れなくてガッカリだった子にも源流の森からカブトムシが1匹ずつプレゼントされ全員満足の森林の学校でした。来年も来てね！（石）

引き続き米沢昆虫館のご協力をいただき8月3日は「夏休み源流塾夜の森編」を実施しました。午後7時から9時まで親子20名が暗闇の森に繰り出し、バナナトラップや灯に集まる虫達を観察。昆虫館の杉浦さんから解説をいただきました。

灯の周辺では見たこともない蝶のような蛾やセミが狂ったように舞い踊り、毒蛾対策に身を固めた子供達は飛び込んでくるカミキリムシなどを捕まえてはみんなで観察しました。中にはカブトムシやクワガタも。ナラの森からヤナギの森に場所が移るとやってくる虫が変わることもわかりました。

夜間ご協力いただいた指導者の皆さんと地元集落のご理解に感謝です。（石）

### 夜の森を探検！



あっ、なんかいた！



午後は西置賜漁業協同組合からご指導をいただき、魚や川の生き物について学びました。漁協の活動内容や山形県の魚「サクラマス」についてご講義いただいたあとは、置賜白川の河原へ移動。ライフジャケットを装着し、源流の森インタープリターと一緒に水生昆虫など川の生き物探しと観察会です。漁協の方には投網と刺網による漁の実演も行っていただき、獲れたオイカワやウグイを観察しました。

台風が接近しており、天気予報とにらめっこしながらの開催となり一時小雨がぱらつく場面もありましたが、無事全行程おこなうことができました。ご協力いただきました西置賜漁業協同組合やインタープリター、保護者の皆さま、ありがとうございました。（伊）

### 夏休み源流塾(川編)

8月11日(日)の夏休み源流塾は「川の生き物」をテーマに開催しました。

午前は園内『ひょうたん池』を臨時釣りばりに設定し、釣り大会の開催です。大人も子供も一緒になってさかな釣りを楽しみました。なお、釣果一等賞は小学生の男子でフナ6匹でした。おめでとうございます！



### 所長イッシーのネホダレ

人生で何か夢中になれる趣味を持つことは良いことです。下手の横好きも続ける中で職業や年齢を超えた人との付き合いが人生を豊かにしてくれます。しかし、何事も節度を守らないと他人にとっては迷惑でしかありません。世の中には〇〇オタクと呼ばれる人種がいて一部の無分別な行動が他の愛好家の名誉を傷付けています。昆虫も例外ではなくクワガタなど貴重な昆虫のためなら地域の迷惑も顧みず採取しSNSで自慢気に報告会。結果、自治体が規制することに。源流の森でも子供達のために設置したトラップからカブトムシが持ち去られました。「子供達に恥ずかしくないのか!!」珍しく<sup>げきおこ</sup>激怒のイッシーです。(ネホダレは置賜語で寝言のこと)